

身近な地質スポット

名古屋市内の段丘崖／名古屋市北区～東区

名古屋市の中心街である栄、新栄、千種などは中位段丘面と低位段丘面に位置しています。中位段丘面は熱田面と呼ばれ、北は名古屋城、南は熱田神宮、西は納屋橋、東は覚王山麓まで広がり、名古屋の中心街がほぼすっぽり収まっています。

低位段丘面は大曾根面と呼ばれ、上記熱田面を東西に分断し、北は徳川町、南は鶴舞公園まで続き、熱田面よりやや低い平坦地です。

これら段丘面の周囲は沖積面が取り囲み、境界部には段丘崖が存在しています。しかし、地表面は都市化が進み、アスファルトや建造物に覆われ、崖と識別が出来るスポットは限られます。

それでも地表面の凹凸を体験するならば、名古屋の中心、広小路通を東西に横断してください。沖積面と熱田面の境界を納屋橋で、熱田面と大曾根面を中区役所と千種駅周辺で感じられます。

また、段丘面北端の大曾根や清水口では、沖積面から段丘面に移行する坂道を見られます。

住宅街では地形が改変され確認が難しい場所が多いが、史跡、寺院などでは改変されずに、昔のままの段丘崖を観察することが出来ます。

図-1の地質図に示す○印で段丘崖の写真を撮りました。写真ではわかりづらいけど、その場に立ってみると地形の変化が体感できます。



図-1 熱田面、大曾根面北端部付近の地質図(出典:名古屋北部の地質図)

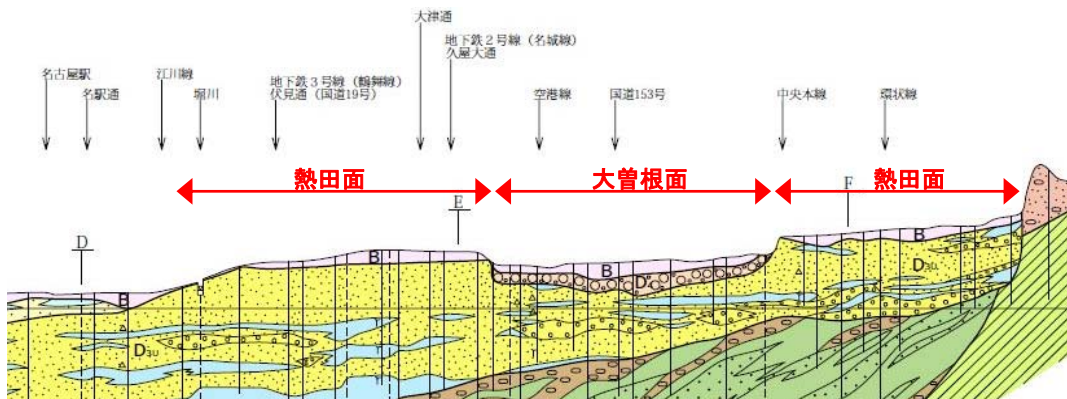


図-2 熱田面と大曾根面との比高差(出典:最新名古屋地盤図)

余談ですが、

この地質スポットの近くにはこんなお店がありました。

らーめん 銀河



らーめん 銀河 名古屋市北区大曾根1-30-10
営業時間:11:30~14:00、18:00~22:00
定休日:月曜日

メニューは少ないが、ひとつひとつにこだわりがありそう。
この日は、「ランチタイム麺類50円引き」でした。
味噌らーめん、担々麺が店主のおすすめ。
店主一人できりもりしているらしく、テレビ等の取材は断っているとか。



店主おすすめ「味噌ラーメン」「担々麺」をいただきました。
価格は600円～、なかなか良心的。